

創部60周年

中央大学合気道部 フランス研修合宿

～交流を通じて、再び合気道を知る～



●パリ

●リヨン

●エクサンプロバンス
●マルセイユ

ASC道場の方との合同稽古で、技をかける細井聡主将(右)

私たち中央大学合気道部は、今年創部60周年を迎えました。さらなる高みを目指すこと、今後の部の財産となる活動を残すことを目的とし、フランス研修合宿が計画されました。

合気道部100周年への挑戦

コンセプトは「合気道部100周年への挑戦」です。長期にわたる検討の末、大学やOBOGからの支援のもと、2月24日～3月7日までの12日間、フランス研修合宿を実施しました。

合宿の主目的は「本学・海外協定大学との合気道を通じた交流」です。

協定校のエクス・マルセイユ大学とリヨン政治学院で、合気道を紹介体験稽古を行いました。

フランスの学生は合気道発祥の地である日本の学生の訪問をとっても意欲的に捉えてくださり、私たちは熱い気持ちの現地の方々に圧倒されながらも、いかに分かりやすく教えられるか考えながら臨みました。

合宿の行程

パリ、リヨン、エクサンプロバンスの順に南下し、各地で合同稽古を重ね、また、市内見学をしました。

中大合気道部は体術(素手のみを用いる技)に加え、剣や杖等の武器を用いる「鹿島神流」を取り入れている点特徴ですが、現地の方との合同稽古においても、体術だけでなく剣術を取り入れた道場を訪問する機会があり、馴れ親しんだ稽古を異国の地で現地の方と一緒に行うという体験はとても貴重



久しぶりに再会した、中大元留学生アドリアンさん(中央)と

なものでした。

帰国した中大元留学生のアドリアンさん、テアナさんとも稽古することができました。

稽古だけではなく、教会・聖堂など市内の建築物の見学、フランス伝統料理を堪能する時間も設けられ、研修も充実していました。

国際性の獲得

近年、中大合気道部には多数の留学生部員がおり、国際色豊かな部活動となっています。留学生向けの稽古体験なども実施しています。

外国文化に触れる機会が増えた中、合気道部員として、「武道」という文化を海外へもっと発信したいと考えています。

こうした思いは、フランス研修

合宿を終えた今、より一層強いものとなりました。

フランスは日本よりも合気道人口が多い世界有数の合気道大国です。フランスでの稽古は、日本人とは体格が異なるため、いつもと同じやり方ではうまくいかないこともありました。そうした中、各々が工夫を凝らし、部員一人ひとりの成長にもつながりました。

渡航前は文化や言葉の壁を心配していましたが、合気道を通して相手と心を通わせることができました。

2～3月の本合宿後も築いた関係は途絶えることなく、7月にはフランスの方々が武道研修を目的として来日。本学でも稽古を行いました。継続的な国際交流は今後の中大合気道部に新しい風をもたらすことでしょう。

現地での交流

フランスでは、多くの方々との出会いがありました。訪問先の道場の方々をはじめ、在リヨン領事事務所訪問の際には、小林龍一郎所長(当時)らに温かく迎えられました。

その席では「合気道を通じて、日仏の実りある国際交流を実現させてほしい」という合宿テーマにつながる激励を頂きました。

カルイール市庁舎では、フィリップ・コシェ市長主催のもと、歓迎セレモニーを開いて頂き、多くの来賓にご列席頂きました。

慣れない環境の中、通訳を務めて下さったリヨン日本人会の山口剛一先生、今回の研修合宿で我々との架け橋の役割を担って下さったガブリエルさんには大変お世話になりました。

研修を終えて

部内の過去の活動報告書の中に「合気道は人を倒すための武道ではなく、人と仲良くなるための武



師範・田中先生が書かれた「忠恕」の風呂敷を記念品に。
前列右から2人目は中大元留学生のテアナさん

道」という言葉がありました。

今回の合宿で、その言葉がどういう意味なのかを実感することができました。相手を無力化する武術としての合気道だけではなく、合気道を通じてその人を感じ取る、いわばコミュニケーションツールの一つであるということを実感できました。

フランスで全く異なる文化圏の人々と関わったからこそ、感じる事ができたのだと思います。

分け隔てなく他者と交流しようという精神を合気道によって持つことができる。この精神を世界にも伝えていきたいという思いが芽生えました。

フランス合宿がこうした思いを

抱かせる原動力となったことはもちろん、発信の第一歩となったことは、今後私たちにとって大きな財産となると思います。

(永井美帆 ^{みつはし} 三髯智之 渡辺倫子)

白門祭で模擬店出店&演武

合気道部は白門祭(11月2～5日=多摩)で、ワッフルを販売します。多摩キャンパス中央図書館前に、模擬店を出す予定です。中央ステージでは、演武を行います。ぜひおいでください。

| | |
|----------------|--------------------------------------|
| 24日 出国 | 羽田空港発～シャルルドゴール空港着 |
| 25日 研修 | パリ市内 |
| 26日 合同稽古 | ASPTT(ガマ道場にて) |
| 27日 合同稽古 | サークル・ティシエとの稽古後、TGV(フランスの高速鉄道)でパリ→リヨン |
| 28日 リヨン領事事務所訪問 | 小林所長と会談 |
| 研修 | リヨン市内 |
| 1日 合同稽古、交流会 | ASC |
| 歓迎セレモニー、研修 | カルイール市庁舎にて日仏武道交流会、その後レジスタンスについて学ぶ |
| 2日 合同稽古、交流会 | ASCとの稽古後、リヨン政治学院日本語クラスとの交流 |
| 3日 移動、稽古体験会 | TGVでリヨン→エクサンプロバンス、到着後エクス・マルセイユ大学にて稽古 |
| 4日 合同稽古 | BBC |
| 5日 研修 | エクサンプロバンス市内 |
| 6日 移動、出国 | TGVでエクサンプロバンス→パリ、シャルルドゴール空港発 |
| 7日 帰国 | 羽田空港着 |

※ASPTT、サークル・ティシエ、ASC、BBCはフランスの合気道団体